

静岡市食の安全・安心アクションプラン平成24年度から平成26年度 実績

「評価法について：現時点での進捗状況の評価をする」
A. 計画以上の進展：定量的な場合は目標値の110%以上の進展、
又、定量的以外のものは新展開や追加内容があった場合。
B. 計画通り進展：目標値の90%以上110未満の進展、又、目標内容の実施
C. 計画通り進展していない：目標値の90%未満の進展、
又、目標内容の未実施（事業の廃止、休止を除く）

Ⅱ 食の安心の提供のための施策

体系	事業名	目標値	H24年度		H25年度		H26年度		評価		担当部署
			実績	解説	実績	解説	指標	解説			
Ⅱ－1 食の安全に関する情報の提供、公開を推進します。	(1) 生産・流通から消費に至る食の安全に関する情報の収集、提供、公開に努めます。	情報の提供、公開の推進 ・消費者グループ、消費生活モニター等へのパンフレット等の配布 ・広報紙への掲載やホームページ等による情報(他課提供資料)提供 ・JAS法等の表示に関する資料や新聞記事の収集・整理 ・食の安全に関する新聞記事の収集・整理	広報紙掲載年1回	JAS法に係る食品表示の内容を掲載	・モニター研修等を通して市食品表示に関するパンフレット配布 ・広報紙掲載年1回	・モニター研修時に食品表示制度に関するパンフレット配布 ・静岡市広報紙にJAS法に係る食品表示の記事の掲載。	モニター研修等を通して市食品表示に関するパンフレット配布	・モニター研修時に食品表示制度に関するパンフレット配布	B. 計画通り進展	年間1回の広報紙への掲載を目標としていたが、市広報紙の年間発行回数が減少したため、平成26年度は食品表示に係る記事の掲載が困難。	消費生活センター(現生活安心安全課)
		食生活改善推進員による地区活動 ・乳幼児から高齢者を対象に地域で食を通じた健康づくりを推進します。 ・地域の特徴にあわせた事業や統一テーマによる取組を実施します。	継続実施					25年度と比べて大幅に実績が減少したのは、静岡県及び生涯学習施設からの依頼事業が大幅に減少したため。 生活習慣病予防事業、高齢者の健康食生活事業等、予定していた事業は全て実施した。	B. 計画通り進展	地域の特徴に合わせた依頼事業や統一テーマにより取組を実施しており、毎年開催回数や参加人数に幅があるため、定量的な数値目標は設定していない。 予め予定していた事業は実施したため、評価をBとした。	健康づくり推進課
		特集コーナーを利用しての関連図書の展示による知識の普及	12回		11回	各館において、「食の安全」「食育」といったテーマで展示を行った。(全12館中、11館で実施)	12回	各館において、「食の安全」「食育」といったテーマで展示を行った。(全12館で実施)	B. 計画通り進展		中央図書館
		図書館における「食の安全」に関する資料の収集・提供	約230冊		58タイトル 294冊	H24年度中に全館で購入した「食の安全」「食育」の図書数は、実績のとおりである。	65タイトル・273冊	H25年度中に全館で購入した「食の安全」「食育」の図書数は、実績のとおりである。	B. 計画通り進展	購入タイトルは増加しているものの、複本の購入が減少したため、購入冊数が減少している。	中央図書館
		違反者への処置等を公表			3件	食中毒件数3件(ノロウイルス3件)	5件	食中毒件数5件(ノロウイルス3件、カンピロバクター1件、きのこ1件)	B. 計画通り進展		食品衛生課
		食の安全・安心ホームページ「たべしずねっと」の運営	コンテンツの充実、利便性の向上に努める		H24年度のアクセス数 113,150		H25年度のアクセス数 182,199		B. 計画通り進展	アクセスのカウンtr方法を変更したので、平成26年度の実施計画の数に比較してアクセス数が減少した。	健康づくり推進課 食品衛生課 農業政策課など
		食の安全・安心メールマガジンの発行	月1回程度発行		7回発行	平成24年9月より発行	12回発行	毎月発行。	C. 計画通り進展していない	提供情報が乏しく発行できない月があった。	食品衛生課

体系		事業名	目標値	H24年度		H25年度		H26年度		評価		担当部署
				実績	解説	実績	解説	指標	解説			
		食の安全・安心に関する映像資料・図書雑誌等の購入・貸出	年5品目 程度収集 食品安全 委員会等 からの無 償提供の 資料も活 用する	6冊		12冊		3冊		B. 計画通り進展		食品衛生課
Ⅱ－2 食の安全に関する連携と意見交換を推進します。	(1) 消費者・生産者・事業者の意見を施策に反映させるよう努めます。	消費者グループや消費生活モニターによる意見交換会の実施		年1回	消費生活モニター研修会のなかで実施(参加者16人)	年1回	消費生活モニター研修会の中で実施(参加者18人)	年1回	消費生活モニター研修会のなかで実施(参加者18人)	B. 計画通り進展		消費生活センター(現生活安心安全課)
		監視指導計画(案)の公表及び意見の募集		意見1件	平成25年度監視指導計画(案)作成時にパブリックコメントを募集した	意見0件	平成26年度監視指導計画(案)作成時にパブリックコメントを募集した	意見5件	平成27年度監視指導計画(案)作成時にパブリックコメントを募集した	B. 計画通り進展		食品衛生課
		静岡市食の安全・安心意見交換会の開催	年1～2回	1回	平成24年10月1日から平成25年2月14日まで、静岡市食の安全・安心ホームページ「たべしずねっと」上の掲示板で実施	1回	平成25年10月21日から平成26年2月17日まで、静岡市食の安全・安心ホームページ「たべしずねっと」上の掲示板で実施	2回	●第1回を平成26年10月1日から平成26年10月31日まで、静岡市食の安全・安心ホームページ「たべしずねっと」上の掲示板で実施 ●第2回を平成27年1月29日に城東保健福祉エリアにて実施	B. 計画通り進展		食の安全対策推進連絡会
		生涯学習施設でのリスクコミュニケーションの開催	内容のさらなる充実を目指す	12回	464人が参加	13回	469人が参加	6回	152人が参加	B. 計画通り進展	申込に応じて実施。	生涯学習推進課 生活衛生課 食品衛生課
		夏休み食の安全親子バスツアーの実施	年1回	1回	8月7日小学校4～6年生とその保護者37人が参加	1回	8月6日小学校4～6年生とその保護者57人が参加	開催せず	申込者が少なかったため。	C. 計画通り進展していない		生涯学習推進課 環境保健研究所 食品衛生課
		市政出前講座「食べてもだいじょうぶ？」の開催(旧:市政ふれあい講座「食べてもだいじょうぶ？」の開催)	内容のさらなる充実を目指す	10回	442人が参加 平成24年度において、市政ふれあい講座から市政出前講座に改名した。	16回	534人が参加	8回	320人が参加	B. 計画通り進展		食品衛生課
		フレッシュマタニティ教室での食の安全講座開催	内容のさらなる充実を目指す	25回	430人が参加	25回	458人が参加	27回	438人	A. 計画以上の進展	蒲原保健福祉センター開催の講座でも時間を設けてもらったため、開催数が増加した。	食品衛生課
	(2) 流通及び販売者との連携強化を図り、情報の共有化による食の「安心の提供」に努めます。	食品衛生協会及び各食品衛生組合加盟事業者との連携 ・食品衛生協会及び各食品衛生組合加盟事業者との連携を図り、食の安全・安心に関する情報交換を行います。 ・食中毒予防啓発ポスターの掲示、食中毒予防キャンペーンの実施を行います。		2事業実施	●8月1日に食中毒予防月間街頭広報を行った。 ●2月20日に食の安全講演会を行った。 (キノコを学ぶ会は台風のため中止。)	3事業実施	●8月1日に食中毒予防月間街頭広報を行った。 ●9月18日にキノコを学ぶ会を開催した。参加人数20名。 ●2月20日に食の安全講演会を行った。	3事業実施	●8月3日に食中毒予防月間街頭広報を行った。 ●10月1日にキノコを学ぶ会を開催した。参加人数23名。 ●3月5日に食の安全講演会を行った	B. 計画通り進展	年度ごとに、食品衛生協会と協議して実施内容を決めている。	食品衛生課

体系		事業名	目標値	H24年度		H25年度		H26年度		評価		担当部署
				実績	解説	実績	解説	指標	解説			
Ⅱ-3 食品表示の適正化を推進します。	(1) 食品表示の監視指導を実施します。	国、県等からの通報による調査と改善指導	<div></div>	7件		5件		5件		B. 計画通り進展		消費生活センター (現生活安心安全課) 生活衛生課
		食品販売店への立入時の指導 ・食品販売店への立入時に表示のチェックを行い、食品表示の適正化を推進します	1,820件	1956件		9004件	平成25年度より集計方法が変わったため、大幅に件数が変わった。	9026件		B. 計画通り進展		消費生活センター (現生活安心安全課) 生活衛生課
		国、県等との食品表示の合同調査の実施	20件	26件		27件		27件		B. 計画通り進展		消費生活センター (現生活安心安全課)
		講習会等による食品表示の適正化推進 ・食品事業者を対象にした衛生講習	<div></div>	衛生講習会112回実施		衛生講習会104回実施		衛生講習会90回実施		B. 計画通り進展		消費生活センター (現生活安心安全課) 食品衛生課
	(2) 食品表示モニターを委嘱します。	食品表示モニターの委嘱	30人委嘱	30人委嘱	・食品表示の調査総数 4451件 ・違法な食品表示11件を指導	32人委嘱	・食品表示の調査総数 6431件 ・違法な食品表示21件を指導 ・1月の報告会では、初めて事業者を講師として招き、市民との協働を図った。	27人委嘱	・食品表示の調査総数 4915件 ・違法な食品表示33件を指導 ・1月の報告会では、事業者を講師として招き、市民との協働を図った。	A. 計画以上の進展	勉強会、報告会へ事業者に参加してもらい、制度を充実させているため、評価はAとした。概ね30人委嘱し、内容のさらなる充実を目指す。	食品衛生課
	(3) 不審・疑問表示の情報の共有及び合同調査・指導を行います。	不審・疑問表示の情報の共有及び合同調査・指導	<div></div>	1件	県等と合同調査	0件		0件		B. 計画通り進展		消費生活センター (現生活安心安全課) 食品衛生課
Ⅱ-4 地産地消を推進します。	(1) 生産者、食品等事業者、消費者等の交流活動を推進し、生産と消費が身近で「目に見える地産地消」の推進に努めます。	地産地消を学ぶ講座の開催	22講座実施	26件	各生涯学習施設にて、講座を実施	31件	各生涯学習施設にて、講座を実施	45件	各生涯学習施設にて、講座を実施	A. 計画以上の進展		生涯学習推進課
		地産地消マップの紹介	<div></div>	随時更新		随時更新		随時更新		B. 計画通り進展		農業政策課
		お茶の美味しい入れ方教室の開催	60校	63校		68校		72校	196教室、5,577名に対して入れ方教室を実施した。	B. 計画通り進展		農業政策課
		農業体験教育事業	29回	41回	市主催の農業体験教室の他、ドリーム蒲原に委託し、蒲原畑総を中心に開催した。	16回	市主催のみで実施。市の特産物中心に体験教室を開催する。。	10回	本市特産物を対象とした教室を中心に実施。参加者318人	B. 計画通り進展	事業費の縮小により実施できる回数が減ったため。	農業政策課
		ふるさと農力チャレンジ事業 (旧：地域ぐるみ朝市応援事業)	3地区 (実施年度H23～25市内各区1か所)	21回	2団体、合計21回の朝市を実施	3団体	25年度は事業の統合を図り、朝市等に出店する農業者の6次産業化の支援を行った。	3団体、8人	農業者自らが加工、販売を行う6次産業化を支援した。	B. 計画通り進展		農業政策課
		用宗漁港祭りの実施 ・生しらすや釜揚げしらすの販売 ・模擬セリ(鮮魚)の開催	継続実施	5月20日 実施 来場者：30,000人	雨天で目玉の生シラスはなかったが、来場者は期待どおりであった。	4月28日 実施 来場者：50,000人		4月27日 実施 来場者：50,000人		B. 計画通り進展	毎年、「生シラス」の直売には長蛇の列ができ、好評である。地域の活性化にも貢献している。	水産漁港課

体系		事業名	目標値	H24年度		H25年度		H26年度		評価		解説	担当部署	
				実績	解説	実績	解説	指標	解説					
		由比桜えびまつりの実施 ・生桜えび、かき揚げの販売 ・地元業者による農産物の販売	継続実施	5月3日 実施 来場者：30,000人 （雨天）	新しい由比漁港外港を利用した初めての祭りであったこともあり、来場者や市民に対し新しい施設と桜えびをよりPRできた。雨天のため来場者数は減少	5月3日 実施 来場者：70,000人		開催なし	桜エビ不漁のため中止	B. 計画通り進展		桜エビが不漁になると開催できなくなるが、「桜えびまつり」の知名度を高めるのには貢献している。	水産漁港課	
		体験学習(地引網・しらす船びき網漁業見学など)の実施 ・地引網体験学習 ・しらす船びき網漁業見学 ・桜えび漁体験学習	継続実施	地引網漁体験：7月22日実施 シラス漁の見学：8月12日実施	参加者の声は、良好なものであった。今後も地元水産業への理解を深めるためにも、継続していきたい。	5月3日 実施 来場者：70,000人		地引網漁体験：7月20日実施 シラス漁の見学：8月10日実施		B. 計画通り進展			水産漁港課	
		産業フェア(水産ゾーン)の展示	継続実施	11月24日・25日実施 86,100人	由比桜海老商工業協同組合が新規出店し、水産ゾーンの賑わいは増加した	11月30日12月1日実施 92,700人		12月6日・7日開催		B. 計画通り進展			水産漁港課	
		学校給食における地産地消の推進	JAや地域と連携のもと、引き続き地場産物を積極的に	6月調査：41.7% 11月調査：39.5% 各施設栄養士がより意識して県内産の食材を使用した	年2回調査を実施	6月調査：43.5% 11月調査：44.2% 各施設栄養士の協力の他、課主導にて市内産みそ等の導入も図った。	年2回調査を実施	6月調査：43.1% 11月調査：45.4% 各施設栄養士の協力の他、課主導にて市内産みそ等の導入も図った。	年2回実施	B. 計画通り進展			学校給食課	
Ⅱー5 食の安全に関する教育・啓発を推進します。	(1) 学校等と連携し、教育活動を通して、食の安全への関心を深めます。	保育所の食育研修		5回	代表の園長、保育士、調理員、保育課栄養士が集まり、食育についての情報交換等を行ない、保育園、保護者等に食育を普及した。	5回	代表の園長、保育士、調理員、保育課栄養士が集まり、食育についての情報交換等を行ない、保育園、保護者等に食育を普及した。	4回	代表の園長、保育士、調理員、保育課栄養士が集まり、食育についての情報交換等を行ない、保育園、保護者等に食育を普及した。	B. 計画通り進展			保育課 (現こども園課)	
		保健福祉センターでの各事業における啓発		継続実施	フレッシュマタニティ教室28回435人	講義の中で、「食の安全について」の時間を設け、クイズ形式で講話を実施	フレッシュマタニティ教室28回469人	妊婦・授乳期の栄養、妊産婦の食生活指針、妊娠中の上手な食べ方など	フレッシュマタニティ教室28回430人		B. 計画通り進展			健康づくり推進課
		関係機関・団体と連携した食育推進		継続実施	食育月間普及啓発 食育キャンペーン啓発品配布	8日間(6月)パネル展示、パンフ・チラシ配布 300人	食育月間普及啓発3日間(6月) おいしい食べもの探検隊2/9 304人参加	静岡庁舎でのパネル展示、パンフレット配布 市・企業・高校との連携事業	食育月間普及啓発・展示5日間(6月) ・図書館展示(6月) おいしい食べもの探検隊10/18 173人 その他連携2事業 合計67人参加	静岡・清水庁舎でのパネル展示、パンフレット配布 市・企業・食育応援団・ガールスカウト等との連携事業	A. 計画以上の進展	26年度より、市立図書館にて食育に関する図書展示・紹介を実施。 これまで企業や高校との連携によりイベントを実施していたが、それに加えてガールスカウトや食育応援団登録団体との連携事業を実施した。	健康づくり推進課	
		食育普及啓発事業		継続実施	食育講演会開催	227名が参加	食生活改善普及運動9/9～12、9/17～20 食育の日の普及啓発毎月19日に実施	静岡・清水庁舎でのパネル展示・パンフレット配布 庁内放送・インフォメーション掲載による普及啓発	食生活改善普及運動9/8～30 食育の日の普及啓発毎月19日に実施	静岡・清水庁舎でのパネル展示・パンフレット配布 庁内放送・インフォメーション掲載による普及啓発	B. 計画通り進展			健康づくり推進課

体系		事業名	目標値	H24年度		H25年度		H26年度		評価		担当部署
				実績	解説	実績	解説	指標	解説			
(2) 各種教室、講演会、講習・体験、イベント等を開催し、正しい知識の普及に努めます。		食育応援団登録制度	登録数30個人・団体 活用数 30回	登録数19個人・団体 活用数29回1,233人	学校関係と生涯学習センター・交流館からの依頼が中心であった。	登録数20個人・団体 活用数26回1,299人	保育園、幼稚園、小・中・高校、生涯学習施設、老人クラブなどからの依頼により活動	登録数21個人・団体 活用数40回1,597人	保育園・幼稚園、児童クラブ・小学校、生涯学習施設、老人クラブなどからの依頼により活動。	B. 計画通り進展		健康づくり推進課
		食の安全教室の開催	使用媒体等の充実、より効果的な適宜実施	67校 3561人参加		73校 3500人参加		58校 2949人参加予定		B. 計画通り進展		学校給食課 環境保健研究所 生活衛生課 食品衛生課
		食の安全に関する教育・啓発の推進		年4回	消費生活モニター研修会(JAS法1回参加者18人、食品添加物と放射性物質1回参加者16人) 出前講座(JAS法2回参加者約100人)	年2回	消費生活モニター研修会(JAS法1回参加者13人、食べてもだいじょうぶ?～まちがいだらけの食の安全～1回参加者18人)	年2回	消費生活モニター研修会(JAS法1回参加者11人、知っておきたい食中毒の話～家庭内食中毒を防ぐポイント～1回参加者18人)	B. 計画通り進展		消費生活センター(現生活安心安全課)
		農業体験や漁業体験の実施		6件	各生涯学習施設にて、講座を実施	4件	各生涯学習施設にて、講座を実施	10件	各生涯学習施設にて、講座を実施	A. 計画以上の進展		生涯学習推進課
		地産地消、環境、健康等に配慮した料理教室の開催	75講座実施予定	77件	各生涯学習施設にて、講座を実施	111件	各生涯学習施設にて、講座を実施	155件	各生涯学習施設にて、講座を実施	A. 計画以上の進展		生涯学習推進課
		食品添加物や細菌などの検査に関する市民講座の開催	適宜実施	・夏休み講座1回 ・食の安全教室8回 ・市民講座2回	夏休み講座約200人参加 食の安全教室398人参加 市民講座50人参加	・夏休み講座1回 ・食の安全教室9回 ・市民講座2回 (内訳:出前講座1回、技術講演会1回)	夏休み講座約200人参加 食の安全教室359人参加 市民講座50人参加	・夏休み講座1回 ・食の安全教室11回 ・市民講座2回	夏休み講座231人参加 食の安全教室618人参加 市民講座123人参加	B. 計画通り進展		環境保健研究所
		感染症の感染様式、予防方法についての正しい知識の普及(講習会等)	1回以上(依頼数による)	4回	ノロウイルスやインフルエンザに関する講習会	1回	ノロウイルスやインフルエンザに関する講習会	3回	ノロウイルスやインフルエンザに関する講習会	B. 計画通り進展		保健予防課
		アクションプランの普及、PR		なし	集団栄養指導における食の安全、食品衛生等の質問なし	なし	集団栄養指導における食の安全、食品衛生等の質問なし	なし	集団栄養指導における食の安全、食品衛生等の質問なし	C. 計画通り進展していない	栄養指導の時間、内容からPRは難しい為。対象者からの質問はとくになかった。	静岡病院
				なし	集団栄養指導未実施のため実施なし。	なし	集団栄養指導未実施のため実施なし。	なし	集団栄養指導未実施のため実施なし。	C. 計画通り進展していない	集団栄養指導未実施のため実施なし。	清水病院
		食育活動の推進	継続実施	あまごの串焼きづくり、椎茸の菌打ち 等	小中学校の野外体験活動プログラムの中で実施のほか、オープンデー事業の中で一般参加者を対象に実施	あまごの串焼きづくり、椎茸の菌打ち、山菜の天ぷら教室(19回、1338人参加)	小中学校及び主催事業、オープンデーのプログラムで実施(対象は小中学生及び一般の参加者)	あまごの串焼きづくり、椎茸の菌打ち体験、山菜の天ぷら教室、トモロコシのもぎ取り体験、在来野菜の調理教室	あまごの串焼きづくり、椎茸の菌打ち体験、山菜の天ぷら教室を実施、在来野菜の学習、調理教室を実施	B. 計画通り進展	小中学校及び主催事業、オープンデーのプログラムで実施(対象は小中学生及び一般の参加者)	教育総務課
		環境教育の推進	継続実施	エコクッキング推奨(野外炊飯活動)	小中学校の野外体験活動プログラムの中で実施のほか、オープンデー事業の中で一般参加者を対象に実施	エコクッキング推進(野外炊飯活動)(21回、1818人参加)	小中学校及び主催事業、オープンデーのプログラムで実施(対象は小中学生及び一般の参加者)	小中学校及び主催事業、オープンデーのプログラム	井川少年自然の家利用校及び主催事業、オープンデーでエコクッキングを指導。	B. 計画通り進展	井川少年自然の家利用校及び主催事業、オープンデーでエコクッキングを指導。	教育総務課

体系		事業名	目標値	H24年度		H25年度		H26年度		評価		解説	担当部署
				実績	解説	実績	解説	指標	解説				
		食の安全・安心ホームページ「たべしずねっと」の運営	コンテンツの充実、利便性の向上に努める	H24年度のアクセス数 113,150		H25年度のアクセス数 182,199		H26年度のアクセス数 54,134	アクセスのカウント方法を変更したので、平成26年度の実施計画の数に比較してアクセス数が減少した。	B. 計画通り進展			健康づくり推進課 食品衛生課 農業政策課など
		生涯学習施設でのリスクコミュニケーションの開催	内容のさらなる充実を目指す	12回	464人が参加	13回	469人が参加	6回	152人が参加	B. 計画通り進展	申込に応じて実施。		生涯学習推進課 生活衛生課 食品衛生課
		夏休み食の安全親子バスツアーの実施	年1回	1回	8月7日小学校4～6年生とその保護者37人が参加	1回	8月6日小学校4～6年生とその保護者57人が参加	開催せず	申込者が少なかったため。	C. 計画通り進展していない			生涯学習推進課 環境保健研究所 食品衛生課
		市政出前講座「食べてもだいじょうぶ？」の開催(旧:市政ふれあい講座「食べてもだいじょうぶ？」の開催)	内容のさらなる充実を目指す	10回	442人が参加 平成24年度において、市政ふれあい講座から市政出前講座に改名した。	16回	534人が参加	8回	320人が参加	B. 計画通り進展			食品衛生課